

# 週刊 高齢者住宅新聞

(株)高齢者住宅新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15 TEL.03-3543-6852 (編集部)  
http://koureisha-jutaku.com 発行人 西岡一紀 年間購読料 21,000円(送料込・税込)

我孫子市初

## 接骨院併設リハ型デイ展開

### 運動指導のノウハウ活用



ファウンド・イット  
岩瀬誠社長

リハビリ型デイサービスあびこ(千葉県我孫子市)



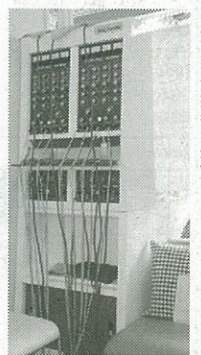
リハビリ型デイサービスあびこ外観

市)は1月7日に我孫子市初となる接骨院併設型のリハビリ型デイとしてオープンした。同市で「わぶち接骨院」を運営する岩瀬誠院長が「ファウンド・イット」(千葉県我孫子市)を設立し、リハビリ型デイの運営にあ

っている。リハビリ型デイの運営を開始した理由について岩瀬社長は「接骨院を我孫子市で3年間運営してきた中で地域住民の加齢に伴う運動機能の低下を感じてきました。運動機

能の維持・改善を行うことと地域貢献に繋げたいと考えました」と説明する。デイでは利用者の生活環境や身体状況を踏まえ、とくに、家族やケアマネの話も聞いた上で生活の質(QOL)の向上に繋がるような筋力トレーニングを提供。リハビリ機器にはサロンオールデイズ(東京都中央区)が販売するリハトレーナーを採用した。4種類のトレーニングマシンからなるリハト

レーナーは東京都老人総合研究所が考案した高齢者向け運動理論に基づいたトレーニングを



低周波治療器も完備

ている。また、デイの提供するのは岩瀬社長は「個々に合ったトレーニングの提案ができるだけはなく、継続的なモニタリングやデータの管理も可能で利用者や家族に対してトレーニングの効果を示せること」から導入を決めたという。ほ

かにエアロバイクやウォーキングマシン、筋肉を動かすための低周波治療器などが用意されており、接骨院を運営する中で培ってきたノウハウを活かして様々なトレーニングメニューを提案し

学に訪れる医師も多い。述べた。



▲様々なトレーニング機器が揃っている

1月の開設以来、順調に利用者数を伸ばしており、「通所回数を増やす人が増え、家族やケアマネからも期待されている」(岩瀬社長)という。見学や体験に訪れた人はほぼ全員が利用に至っているといい、岩瀬社長は「地域密着のシニア向けフィットネスサロンのイメージで、自分を守るための身体作りを行う場